

図9 牛肉1kgの輸送に伴う二酸化炭素排出量の試算(飼料を考慮した場合)

【ケース1:地元の飼料のみを用いた場合】

輸送経路	計	熊本市	←	加工地 (産山村)	←	畜産センター (菊池市)	←	産地 (産山村)	←	飼料畑 (産山村)
輸送距離	183.2 km		63.0 km		57.6 km		57.6 km		5 km	
フード・マイルージ	0.37 t・km		0.063 t・km		0.058 t・km		0.192 t・km		0.055 t・km	
CO2排出量	66.1 g		11.3 g		10.4 g		34.5 g		9.9 g	

【ケース2:飼料に輸入とうもろこし(米国産)を使った場合】

輸送経路	計	熊本市	←	加工地 (産山村)	←	畜産センター (菊池市)	←	産地 (産山村)	←	輸入港 (博多港)	←	輸出港 (ニューオーリンズ)	←	飼料畑 (アイオワ州)
輸送距離	19,807 km (108 倍)		63.0 km		57.6 km		57.6 km		156.7 km		18,072 km		1400 km	
フード・マイルージ	216.23 t・km (588 倍)		0.063 t・km		0.058 t・km		0.192 t・km		1.72 t・km		198.8 t・km		15.4 t・km	
CO2排出量	8,773 g <i>(133 倍)</i>		11.3 g		10.4 g		34.5 g		69.6 g		8025 g		622 g	

注: 1)牛の生体から牛肉の歩留まり率は45%、飼料要求量は11倍とした。

2)貨物輸送機関の二酸化炭素排出係数は国土交通省「交通関係エネルギー要覧」(2001・2002年版)による。

出典: 中田哲也『フード・マイルージーあなたの食が地球を変える』(2007、日本評論社)

ウェブサイト「フード・マイルージ資料室」<http://members3.jcom.home.ne.jp/foodmileage/fmtop.index.html>